

しののめだより



兵庫県立篠山東雲高等学校

兵庫県丹波篠山市福住1260

Tel:(079)-557-0039 Fax:(079)-557-1888

第7号 令和6年3月6日 発行

facebook



本校HP



こまるいの（篠山東雲高校マスコット）



←随時更新中！HP、Facebookをご覧ください。

第13回 卒業証書授与式

3月1日(金)第13回 卒業式が挙行されました。今年は来賓や保護者の多数ご臨席を賜り18名の卒業生の門出を盛大に祝うことができました。以下卒業生の答辞を掲載します。

答 辞

長く厳しい冬もようやく終わりを告げ、春の訪れを感じる季節となりました。本日は、私達卒業生のためにこのような式を挙行してくださり、誠にありがとうございます。卒業生一同、心から御礼申し上げます。

この学校で仲間と過ごした時間はあっという間でした。おはようで始まり、一緒に授業を受け、休み時間にはたくさん笑った当たり前の日々は、私にとってかけがえのないものです。一緒に泣いたり、笑ったりするのが、今日で最後だと思うと、とても寂しく思います。三年前、真新しい制服に身を包み、高校生活への期待と不安を抱いて迎えた入学式が、つい昨日のことのようです。入学してすぐのオリエンテーション合宿では、同じ時を仲間と過ごす中で、次第に絆を深めることができました。オリエンテーションでは、シーソーを使って、みんなでバランスをとるゲームをしました。バランスをとるのが難しく、お互いをサポートしながら挑戦。チームワークやコミュニケーション能力が試されるゲームで、クラスのみんなが仲良くなるきっかけになったのを覚えています。授業では、今まで野菜の栽培をしたことがなかった人も、播種から収穫までを初めて体験。丹精込めて栽培したトウモロコシを収穫食べたときには、その美味しさに感動しました。

二年生になると、類型学習が始まりました。作物・野菜を栽培するアグリプロダクト、草花の栽培・動物の飼育を行うアグリサービス、食品加工・研究を行うフード・インスティテュートの三つの類型に分かれ、販売実習やコンテストなど、さまざま活動を行いました。大きな行事の前は、教室で「嫌だー！」という声もあがっていましたが、活動が始まると、どの類型も楽しそうでした。九月には、北海道へ修学旅行にも行きました。ファームステイでは、ウマの世話やトマトの収穫作業の手伝いなどを体験し、普段は体験できないことをたくさん教えていただきました。

三年生になると、みんながそれぞれの進路実現に向けて動き始めました。専門学校や就職の試験を前にして、クラスでは、ピリピリしていなければならない人もいて、それぞれ違った様子がありました。先生は面接練習の時、自分たちが納得のいくまで練習に付き合ってくれ、時には厳しく、優しく指導していただきました。おかげで面接試験本番では、自信を持って意志を伝える事が出来ました。結果を待つ時間は永遠のように長く感じましたが、これまで支えあってきた仲間が自分と同じように頑張っている姿を見ると「受験を戦っているのは私だけじゃない！」と、前向きな気持ちを持ち続けることができました。最後にはクラスメート全員が進路を決められて、とても嬉しかったです。十一月には、最後の文化祭で、初めて地域の方とともに「福住祭」を開催することができました。フランクフルトの模擬店を行い、全員でおそろいのクラスTシャツを着て接客したことは、高校生活で一番の思い出です。

高校最後の一年は、一番濃い一年間でした。課題研究や部活動の部長、農業クラブ役員、農業クラブ県大会への出場など、三年生十八人全員が、学校の内外問わず活躍した一年だったと思います。



中学生までの自分は、人前に出るのが嫌で、リーダーの経験はありませんでした。学校を代表して活動するということへの恥ずかしさや、自分に務まるのだろうかという不安ばかりが頭にありました。生徒会をやってみることに決めました。引っ込み思案だった私が、生徒会役員として活動する時が来るなんて、中学生の私は、全く想像していなかったと思います。少数精鋭の東雲高校だからこそ、「私がやらなきゃ!」と思えました。体育祭や文化祭、球技大会での司会進行、横断幕の作成、ゲームの準備。みんなのやりたいことを叶えるために悩み、考え、話し合いを繰り返しました。先生方と運営について熱く議論したことでも、今では良い思い出です。一緒に生徒会をやり切ったメンバーはもちろん、三年生全員が個性のある私たちだったからこそ、それぞれの長所を活かして、様々な活動を乗り越えられました。三年生のみんなには、改めてありがとうございますと言いたいです。

これからは、それぞれが別々の道へ進みます。慣れない環境の中で、壁にぶつかることもあるかもしれません。そんなときこそ、距離は離れていても助け合い、支え合う関係でいたいと思っています。これからもよろしく。

いつも悩んだ時、相談に乗ってくれた先生方。進路で悩んだ時には優しく声をかけてくれ、たくさんアドバイスをしてくださいました。おかげで悩みが少しづつ消えていき、楽しい学校生活を送ることが出来ました。世間話の中で、時に真面目な話をし、時にはふざけ合い笑いあった時間が、とても楽しかったです。本当にありがとうございました。

いつでも私たちの味方であり続け、寄り添ってくれた家族へ。今まで育ててくれてありがとうございます。当たり前の存在のように過ごしてきたけれど、反抗したり悩ませたりもしたと思います。ですが、私たちのために、毎日お弁当をつくってくれたり、悩みを聞いてくれたりしてくれたこと、感謝してもしきれません。家族が影で支えてくれなかったら、今の自分はないと思います。慣れないうちはまだ頼ってしまうと思いますが、自分たちなりに頑張っていきますのでこれからもよろしくお願ひします。

在校生の皆さん。挑戦することは勇気がいります。「恥ずかしい。どうせ自分なんて。」と思うかもしれません。でも、「私がやります!」その一言で、次に見える世界はきっと変わります。私も、この学校で過ごす時間の中で、自分の意見を言えるようになりました。「どうせ自分なんて。」と思う必要はありません。後悔しないように、一歩踏み出す勇気を持ってください。

最後となりましたが、本日ご臨席くださいました ご来賓の皆様、並びに関係者の皆様。私たちの高校生活を支えてください、本当にありがとうございました。皆様のご健勝と、篠山東雲高校の更なるご発展を祈念し、答辞といたします。

令和六年 三月一日

卒業生代表

一 御下賜金記念優良卒業生

二 全国農業高等学校長協会賞

三 兵庫県産業教育振興会長賞

四 兵庫県高等学校農業部長協会農水産部会長賞

五 兵庫県学校農業クラブ連盟表彰

六 兵庫県学校農業クラブ連盟賞

七 兵庫県高等学校農水産技術顕彰

八 皆勤賞



在校生のみなさんもお疲れ様でした。

